

せいけん
詩集

第百十九篇

作：近藤せいけん

「ターチの挑戦 その2」

「え、あなたは もしや天の神様」

「そうじゃ おまえが呼んだ 天神じゃ」

「え、驚いた まさか 天神さまと話が出来るなんて・・・」

「それじゃ 私の願い」

聞き届けていただけるとはですか・・・」

「そうじゃ 聞き届けというか・・・」

「よくお聞き」

「おまえの願い すでに 届けている

おまえの手の届くところに」

「え・・・そんな・・・」

「どこにですか・・・」

「すでにある おぬしが知らないだけじゃが」

「知ろうとしないだけじゃ」

「しつかり掴もうと しないだけじゃ」

「え、え どこにですか・・・」

「信じて その存在になれば そうなるよ」

「信じなければ それまでじゃがのう」

